

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

全ての児童に対して、

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得。
 - ・「よい授業」アンケートにおける「授業中に、前の授業で学習したことを振り返る（復習する）時間がある」の回答の割合を令和2年度の値以上の値にする。
- 思考力・判断力・表現力等の育成。
 - ・「よい授業」アンケートにおける「自分の考えや感想を『書く』時間が設定されている」の回答の割合を令和2年度の値以上の値にする。
- 主体的に学習に取り組む態度の涵養。
 - ・「よい授業」アンケートにおける「先生がテレビやパソコンなどの機器を使って授業をしてくれる」の回答の割合を令和2年度の値より0.2pt向上させた値にする。

具体的な手立て

- ①みやりんタイム（朝学習）、みやりん weekends（家庭学習）等において、基礎学力定着プログラムの活用や基礎学力向上のためのドリル学習、読書活動等を実施する。
- ②令和3年度全国・学力学習状況調査を分析し、実態を把握する。
（学力向上カウンセリング学校訪問等の活用）
- ③校内研修部会等でプリント、チェックカード等を作成する。
- ④学校課題研修の取組を中心に、全教育課程において言語活動の充実を図る。
- ⑤年3回の学校課題研修校内授業研究会及び随時研究授業を実施し、研究を推進する。
- ⑥ドリルパークやオクリンク、ムーブノート等、ミライシードを活用した個別最適化された授業を展開する。

結果

今年度の振り返り・次年度に向けて